平塚宿

Tokaido

最盛期には、二千人もの人口と五十四軒の旅籠屋を抱えた宿。

平塚は古くより、東海道から奥州道・八王子道などへの分岐点で、相模各地からの物資や人の交流が盛んで、交通の要所として栄えました。

平塚宿は江戸方より十八軒町、二十四軒町、東仲町、西仲町、柳町の五町から構成されます。このうち、二十四軒町は加宿平塚新宿から二十四軒が移住して、この名が付いたといわれます。

現在も平塚宿にはその跡をしのぶ史跡や石碑を目にすることができます。

、西仲町にあった脇本陣
軒町北側の地に移りまし
一の脇本陣です。

にあった平塚宿公用の掲示
と場所です。日本橋からの
ポイントとされていました。

3 江戸口見附の跡（えどぐちみつけのあと）

慶長6年（1601年）、東西の入口の街道を挟んだ両側に見附が構築され、東側の入口のものを江戸口見附といいました。

4 平塚の里歌碑（さとかひ）

市民センター中庭に、文明12年（1480年）『平安紀行』の作者が上洛の途次、平塚の地を詠じた平塚の里歌碑があります。昭和32年に東京都から江戸城の石垣と井戸枠を贈られ、平塚の里歌碑はこの石垣でできています。

平塚のイベント情報

- ●湘南ひらつか七夕まつり（平塚市／7月上旬）
  湘南地域に位置する平塚市で開催される日本有数の七夕まつり。大型で豪華な七夕飾りが中心街を埋め尽くし、毎年多くの観光客が訪れます。
- ●湘南ひらつか花火大会（湘南潮来／7月下旬又は8月）
  夏の夜の風物詩。爽快感いっぱい。
- ●平塚市緑化まつり（総合公園／4月下旬）
- ●湘南ひらつかシロギス沖釣り大会（4月上旬）
- ●湘南ひらつかビーチカーニバル
  （湘南ひらつかビーチパーク／7月上旬～8月下旬）

※開催日時等は都合により変わる場合もありますので、主催者または市へご確認ください。

東海道現代遊楽帖

平塚市博物館

相模川流域の自然と文化をテーマにしたさまざまな展示物で構成されています。3階にはプラネタリウムもあります。

神は天児屋根命
年)に源頼朝が
宮」といい、海岸
津波の被害を
ったといわれて

11 お初の墓

旧廣蔵寺墓地にあります。歌舞伎「加賀見山旧錦絵」の義女「お初」のモデルといわれる「松田たつ」の墓。かたわらに昭和10年に建立された顕彰碑があります。

2 お菊塚

紅谷町公園の一角にあります。怪談「番町皿屋敷」に登場する菊女の墓跡に、昭和27年、有志によって建碑されました。

1 平塚八幡宮

かつては相模国八幡庄の総鎮守で、今は平塚新宿·馬入·八幡地区の鎮守です。祭神は応神天皇、神功皇后、武内宿禰命の三柱。

んでいた虎
妻)が、朝夕
級んで化粧し
この名がつ
ます。

13 教善寺

本尊の聖観世音立像は祈願すると、眼病平癒に効果ありといわれています。

9 西組問屋場跡

慶長6年(1601年)、伝馬制度がはじまった時、西仲町北側に置かれた平塚宿の問屋場です。参勤交代が定められ、次第に人と物資の往来が多くなり、慶安4年(1651年)に東組問屋場が設立され、交互に伝馬業務を勤めるようになりました。

7 東組問屋場跡

慶安4年(1651年)に八幡新宿が加宿されたときに、八幡新宿の二十四軒町に増設された問屋場で、八幡新宿(後の平塚新宿)が経営にあたりました。

5 脇本陣跡

天保年間に
が二十四軒
た。宿内唯一

14 薬師院

弘法大師がこの地で、喉が渇き、村人から恵んでもらった水のお礼に、地面を突いたところ、清水が湧き出たといわれています。その地に建立されたことから薬師院は「清水の寺」とも呼ばれています。

10 平塚の塚

桓武天皇の孫·高見王の子、平政子が東国へおもむく途中、この地で亡くなったため、塚がつくられ、それがいつしか平らになったために「平塚」と呼ばれるようになったといわれています。

8 本陣旧跡

天保14年(1843年)当時の本陣は総ケヤキ造りで建坪は163坪、座敷数が20もあり、門は乗馬したまま出入りができるよう、高くできていました。

6 高札場跡

二十四軒町に
板が置かれた
距離を測るボ

大磯宿

Tokaido

今も変わらない美しい松並木が、旅人をやさしく迎えた宿。

化粧坂付近の山王町の旧道、大磯中学校前など、道中のいたるところで松並木が見られる大磯宿。大磯の松並木は、県内でも有数の規模を誇っています。

大磯宿には、本陣が三ヶ所（尾上本陣、小島本陣、石井本陣）あり、脇本陣はありませんでした。

3 小島本陣跡（こじまほんじんあと）

大磯宿の代表的本陣で、明治元年（1868年）の東幸にあたり、明治天皇の御宿泊所となりました。

1 高来神社（たかくじんじゃ）

明治以前には高麗寺山頂に高麗権現社が祀られていました。下社には本地仏として定められた千手観音が祀られ、神仏習合の地でした。明治以後、神仏分離により、神は高来神社に、仏は慶覚院に納められています。

12 春日神社（かすがじんじゃ）

平塚本宿の鎮守。祭神で、建久2年（1191年）勧請し、もとは「黒部宮」近くにありましたが、受け、柳町の地に移っています。

2 化粧井戸（けしょういど）

化粧坂付近に住御前（曽我十郎の この井戸の水を汲 ていたことから、 いたといわれてい

日本風景街道※に登録されたルートの一つで、地産地消唱するため【Slow Life In Oiso】を掲げ、旧東海た「宿場まつり」の開催や、東海道松並木に水仙を域づくり活動を町全体として取り組んでいます。

日本風景街道については、Step2をご参照ください。

ト・プログラム

プログラムは、国が管理している の美化や清掃を地域住民、企業な 町村）、道路管理者の3者で協定 を分担して道路を守っていく取り 含めた地域の清掃活動を行ってい 本もあります。大磯町では東海道 時のため、水仙などの花を植えた っています。

東海道現代遊楽帖

左義長

大磯海岸で毎年1月中旬に道祖神の大きな「サイト」が9箇所で立ち並び、盛大な火祭りが行われ、団子など焼いて無病息災を祈ります。国指定重要無形民俗文化財として伝承されています。

東海道 知って得版

照ヶ崎海岸

明治18年(1885年)に陸軍軍医総監を歴任した松本順の尽力により、東日本最初の海水浴場として開設されました。現在は松本順を顕彰した碑が建立されています。また、近くの岩場は「アオバト」の飛来地としても有名です。

大磯のイベント情報

●左義長(大磯北浜海岸／1月中旬夜)
正月の書き初めなどを燃やし団子を焼いて、無病息災を祈る道祖神の祭です。

●白岩神社の歩射(白岩神社／3月上旬)
馬に乗って行う"やぶさめ"とは違い、歩いて的を弓で射ます。

●国府祭(六所神社、神揃山／5月5日)
千年以上の伝統を持つ、五穀豊穣、民業繁盛を祈願する祭り。美しい鷲の舞や座問答などが行われます。

●御船祭(高来神社／7月第3日曜日)
山車の上に美しい船形を組み立てた"飾り舟"の上で漁師が木遣唄を歌います。

●虎御石まつり(延台寺／5月第4日曜日)　曽我兄弟ゆかりの祭り。

●高麗の山神輿と植木市(高来神社／4月中旬)

●大磯宿場まつり(11月上旬)

●大磯西行祭(鴫立庵／3月最終日曜日)
西行法師を偲び、西行像に献香・献花、俳句・短歌の朗詠披露が行われます。

●島崎藤村忌(地福寺／8月22日)
破戒、夜明け前等の名作を残した文豪島崎藤村を偲び回向、献香・献花が行われます。

※開催日時等は都合により変わる場合もありますので、主催者または町へご確認ください。

5 地福寺

弘法大師坐像や地福寺文書があります。境内には島崎藤村の墓があり、その隣には静子夫人の墓があります。

6 新島襄終焉の地

明治の三大教育家と知られる同志社の新島襄は、大磯の旅館百足屋で47歳の生涯を閉じました。徳富蘇峰の筆による碑が、かつて百足屋の玄関だったところに門下生によって建てられています。

4 延台寺

元は法虎庵と称した虎御前の草庵。日道上人が旅の途中に一夜の宿をとられ、この庵の荒廃を嘆き、開山しました。寺には、曽我十郎の「身代わり石」とされる「虎御石」があります。

7 鴫立庵

西行法師が詠んだ「心なき身にもあわれは知られけり、鴫立つ沢の秋の夕暮れ」という名歌はここからの風景を詠んだものといわれています。後に崇雪が西行を慕い訪れ、「湘南清絶の地」と絶賛し、草庵を結びました。

8 旧島崎藤村邸

「破戒」などの名作を残した文豪島崎藤村が左義長を見て、大磯を気に入り、71歳で永眠するまでの2年半をこの場所で過ごしました。

東海道 現代 遊楽帖

旧東海道松並木

県内有数の今に残る旧東海道松並木で樹齢300年を超える松も残り、昔日の姿を残しています。当時の旅人の道しるべや夏の日よけ、冬の寒風よけや休息の場にもなったことでしょう。

1:10,000
0　500m　1000m

歴史街道「ぶらり大磯」(Slow Life In Oiso)

歴史街道「ぶらり大磯」(Slow Life In Oiso)は、日本風
を奨励し、"ゆっくり・ゆったり"したこれからの生活様式を提
道を会場に、「自然遺産を活かしたまちづくり」の一環とし
植栽するなど「花」を生かした整備を行うなど、積極的な地

ボランティア・サポー

ボランティア・サポート
道路を対象として、道路の
どの実施団体、協力者(市
を結びそれぞれの役割を
組みです。また、国道を含
る地元中学校などの団体
松並木の美しい景観保持
り、道路の清掃活動を行っ

安全・安心な道路利用のために

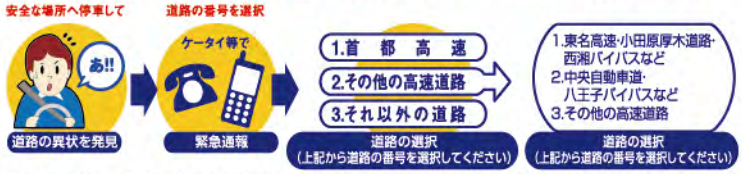
横浜国道事務所では、現在の国道1号・15号（一部区間を除く）をはじめとした、神奈川県内の主要な国道を管理し、皆さまの安全・安心な道路利用のために道路の維持・修繕などを行っています。

～路面・側溝などの清掃～

道路を利用する方の安全な通行を確保するため、支障となる道路上の土砂・塵埃や落葉等を除去するために清掃作業を行っています。

路面清掃車による清掃

道路の異状を見つけたらご一報ください



※特に高速道路については、異状箇所特定のため、道路名、進行方向、キロポスト、周辺の施設名等をご確認いただきますようお願い致します。※県管理の道路等については、夜間・土・日・祭日は対応出来ない場合もあります。※故障車は、高速道路のみ対象となります。※事故情報は、警察（110番）へ連絡してください。ただし、首都高速道路においては、事故を含む緊急事案全般を受け付けます。※道路交通情報については、（財）日本道路交通情報センター（TEL.03-3264-1331）へお問い合せください。※道路交通法により運転中の通話は禁止されています。駐車場等の安全な場所に停車しておかけください。

実施機関　国土交通省関東地方整備局・東日本高速道路株式会社・首都高速道路株式会社・中日本高速道路株式会社

緊急通報以外の道路相談は道の相談室へ

「道の相談室」 ホームページアドレス http://www.ktr.mlit.go.jp/honkyoku/road/michi/

●相談内容の回答については関係する機関から後日回答となる場合もありますのでご了承下さい。

発行:国土交通省関東地方整備局 横浜国道事務所

〒221-0855　横浜市神奈川区三ツ沢西町13-2　TEL045-311-2981

H24.3（H25.11増刷）